

若者版 広報たまの

広報
たまの

2023
No.4

Tamano

玉野で活躍する 18 人にインタビュー

市内で働く人や二十歳の式実行委員会のメンバー、市内 4 高校の生徒など、働くことや頑張っていることを聞きました。

原石や荒削りの若者の皆さんが、大人になってあなたらしく輝けますように。

たまのの四季

フォトコン受賞作品

やっぱり玉野が好きだから

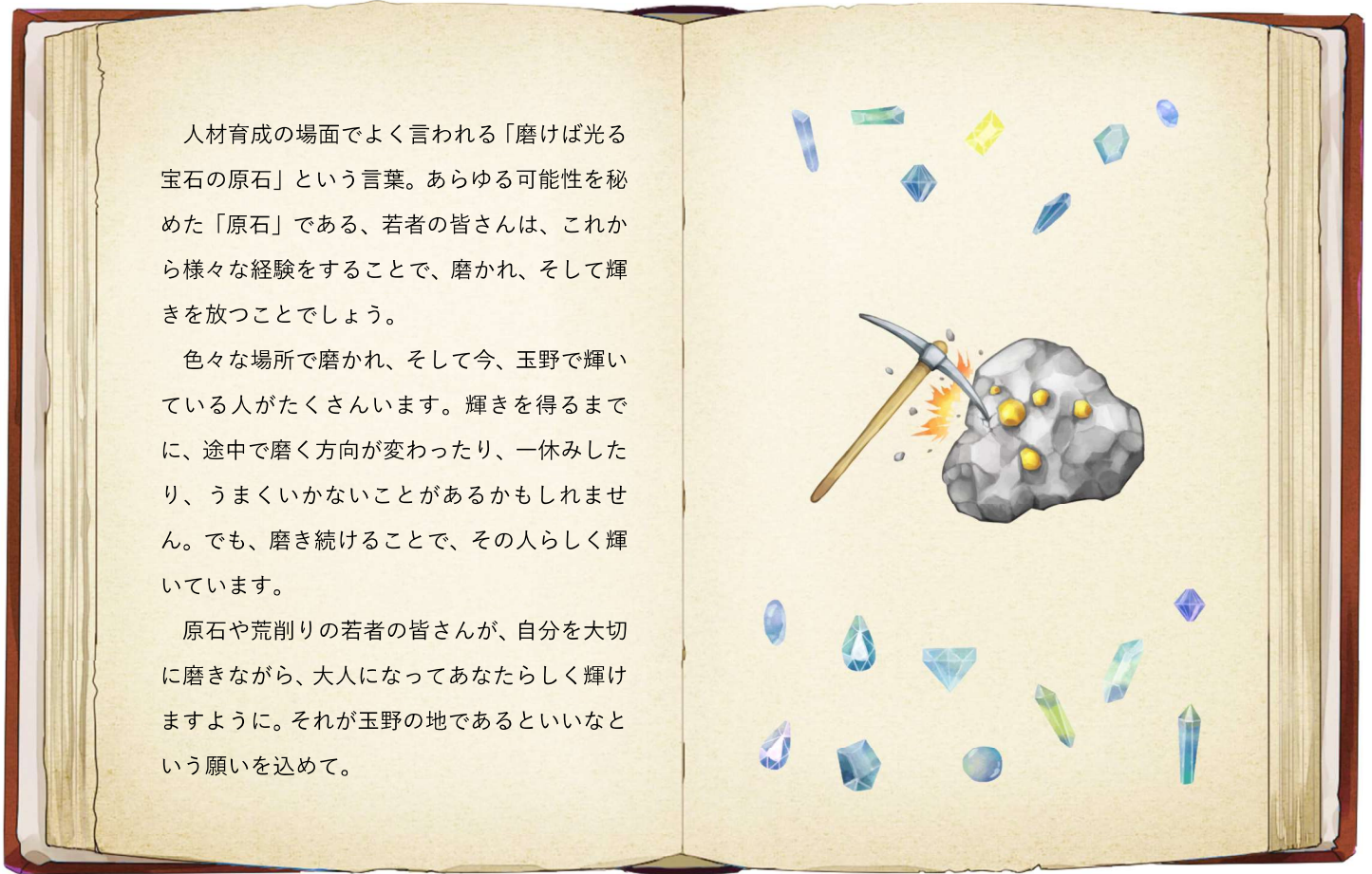
#すみたま 投稿しよう

自分らしく

磨き続ける人

Improve myself

まちは
人で輝く



人材育成の場面でよく言われる「磨けば光る宝石の原石」という言葉。あらゆる可能性を秘めた「原石」である、若者の皆さんは、これから様々な経験をすることで、磨かれ、そして輝きを放つことでしょう。

色々な場所で磨かれ、そして今、玉野で輝いている人がたくさんいます。輝きを得るまでに、途中で磨く方向が変わったり、一休みしたり、うまくいかないことがあるかもしれませんが、でも、磨き続けることで、その人らしく輝いています。

原石や荒削りの若者の皆さんが、自分を大切に磨きながら、大人になってあなたらしく輝けますように。それが玉野の地であるといいなという願いを込めて。



玉野市長

PROFILE



詳しいインタビュー



柴田 義朗
Shibata Yoshio

1961年(昭和36年)玉野市出身。築港小学校、宇野中学校、玉野高校卒業後、中央大学法学部へ進学。同大学卒業後、1984年(昭和59年)に岡山県庁入庁。観光振興や私立学校への助成などを担当した後、中山間・地域振興課長、子ども未来課長を歴任し、県外からの移住促進や少子化対策、子育て支援などを推進。その後、福祉政策企画監、保健福祉部次長を務め、公立大学法人岡山県立大学副理事長兼事務局長を最後に岡山県庁を退職。

2021年(令和3年)10月に行われた玉野市長選挙において初当選。現在玉野市長1期目を務めている。

玉野の活気を取り戻したいと市長になりました

玉野市長を選んだ理由

子どものころ賑やかで活気にあふれていた玉野が、どんどん人口が減って寂しくなっていくのを感じていました。県庁職員として地域振興や少子化対策などやってきた経験を活かして、ふるさとのために貢献したいと思ったのがきっかけです。友人や地元の人に後押ししてもらい、立候補しました。

市長に就任して気づいたこと

市役所は税金を使って組織的に仕事しており、お金の使い方やルールなど、制約がたくさんあります。公約で掲げたことを実現していくためには予算を捻出しなければなりません。しっかりと手順を踏んでやっていきたいと思っています。また、市長1人ではまちづくりはできません。一緒に働く職員がいてこそです。職員がやる気で働き、全体として大きな力を発揮するために気持ちよく働ける職場にしたいです。

自分の強み

前職の県職員としての経験や、生まれ育ったまちで土地勘があるので、玉野の良さを実体験としてPRできます。また、県の公聴広報課ではマスコミ対応をしてきました。地元紙山陽新聞にもお世話になった人がいて市長として働く上でプラスになっています。玉野ならではの話題を発信していけるようにしたいです。

働くときに大切にしていること

「真剣に、真摯に働くこと」、「誰のために働いているか根本を意識すること」、「人への思いやりを忘れないこと」の3つです。

私自身、市民の幸せのために働いていることを忘れず、大切にしている言葉「仁」を胸に、市民への思いやりを体現していきたいです。また、行政の長としてルールを大事にする一方で、政治家として時代のニーズに応じて新たなルールを作ったり改定したりすることも必要だと思っています。

玉野のお気に入り

やはり、海、港は玉野の大きな魅力です。浜川海岸だけでなく、東児・山田エリアの銚島や吉浦海岸も瀬戸内海の穏やかな景色が美しく、冬には水平線と朝日が溶け合いシルエットがだるまのように見える「だるま朝日」は珍しく見ごたえがあります。

また、ウォーキングが好きなので自然豊かな深山公園は絶好のスポットです。

メッセージ

思いを持って取り組めば、応援してくれる人が必ず現れます。その中で生まれた人とのつながりを大切に、支えてくれる人へは感謝の気持ちを忘れず、誰かのために動き、働くことが自分にとっても幸せにつながるのではないのでしょうか。人生を豊かにするため、将来へのイメージを膨らませ、楽しみながら色々なことに挑戦してみてください。

二十歳の式を盛り上げます！

学業や仕事内容

大賀さん 私は、大学で外国語を学んでいます。将来、外資系企業に勤めたいと思っているので、大学生で留学したいと思っていました。そのため、休学せずに、必修科目として認められる今の大学に進学しました。来年 9 月から留学する予定です。

佐藤さん 母が学生服を作っていたので、縫製に興味があり、自分も縫製の仕事を学びました。一枚一枚お客様の要望に沿ったオーダーメイドのシャツを手作りしています。素材や型、ポケット、襟の角度に至るまでお客様のサイズや要望に応じています。就職するまでは、工業用ミシンを使ったことがありませんでしたが、いざ使ってみると、家庭用ミシンより大きく使いやすいと思いました。

二十歳の式実行委員になろうと思ったきっかけ

大賀さん 中学校の時の担任の先生から電話がかかってきて、実行委員をやらないかと言われたことがきっかけです。人生で 1 回だけの式で、全員は経験できない実行委員を経験としてやってみようと思いました。

同じ学校からもう 1 人実行委員が必要で、誰かいないかと言われたので、中高と同じで今も仲の良い佐藤さんを推薦しました。

佐藤さん 大賀さんから「二十歳の式実行委員になったよ」と事後報告されました。それほど仲良しです。

二十歳の式実行委員会の活動

二十歳を迎える人を祝う、「二十歳の式」で、一生の思い出に残る集いを自分たちでつくるため、実行委員を毎年 5 月ごろ募集しています。市内 7 つの中学校から 2 人、合計 14 人程度の委員が集まり、「はたちの集い」の企画・運営やポスター作成、記念品選定、誓いのことば、一丁締めなどの役割を担います。

今回の実行委員会は、8 月から月に 1 回開催され、次のような内容を協議・準備し、二十歳を迎える人の代表として壇上に立ちます。

実行委員会の開催内容

- 8 月
実行委員の役割決め、記念品の選定など
- 9 月
ポスター図案の協議、「はたちの集い」内容や役割分担決め、記念品の決定
- 10 月
ポスター・リーフレットデザインの決定、「はたちの集い」内容協議
- 11 月
ポスターの配布、リーフレットについて、「はたちの集い」当日の流れを確認
- 12 月
会場にて当日の進行の動きを確認、リハーサル

実行委員会の役割

- 実行委員長
実行委員会でのまとめ役、進行役。「はたちの集い」の冒頭、壇上で実行委員としての思いなどを 5 分程度発表する。
- 副実行委員長
委員長の補佐
- 誓いのことば
二十歳の式で、壇上で誓いを述べる。
- ポスター担当
ポスター図案を作成
- 一丁締め
「はたちの集い」の最後、実行委員全員が壇上で一丁締めを行う際の音頭取り
- その他(全員)
「はたちの集い」を企画・運営、記念品選定、ポスターを市内の企業や店舗に配布し掲示を依頼する広報活動

玉野のお気に入り

2 人 渋川海岸にある、「渋川カブー口浜茶屋」です。ご飯もおいしく、雰囲気が良いので、高校生のころから通っています。高校のテスト帰りに 2 人で立ち寄っていたのも良い思い出です。

大賀さん 私の姉がフリーのアート作家で、渋川カブー口浜茶屋の店内の壁画全面をアートプロジェクトとして描いています。夏はお客様が多いので冬から春の時期に描いています。完成は何年も先になりそうですが、段々と増えていくアートも楽しんでみたいです。

将来の夢や目標

大賀さん 色々な経験をしたいです。海外旅行にも行ってみたいです。世界一周旅行もいいですね。仕事はバリバリこなして、お金を貯めて家を建てたいです。

佐藤さん 私は色々な知識を得たいです。知識はないよりあった方が役に立つと思うからです。父とニュースを見ながら、話をするところがあるので、政治にも興味があります。最近では外国の戦争に伴う日本への影響について話しました。海外旅行にも行ってみたいです。北欧のスウェーデンなどでは、税率が高いですが社会保障サービスが手厚いと聞くので、実際に体験してみたいです。

二十歳を迎える皆さんへメッセージ

私たちは高校 1 年生の冬から新型コロナウイルス感染症が流行し、高校 2 年生の 4 月から 6 月ごろはほぼ学校が休みになってしまいました。修学旅行やイベントがなくなり、そういった思い出は少ないと思います。

イベントなどの思い出がなくなったのは悲しいですが、みんな苦難を乗り越え、強くなったのではと思います。

二十歳の式では、一緒に楽しんで思い出を残しましょう！

二十歳の式実行委員会 委員長・副委員長



詳しいインタビュー→



PROFILE

佐藤 綺 さん

Sato Aya

2004 年(平成 16 年)玉野市出身。日比小学校、日比中学校、玉野商工高校ビジネス情報科を卒業後、2022 年(令和 4 年)4 月から市内の衣服製造業に就職し、縫製を行っている。2024 年(令和 6 年)1 月に開催される二十歳の式実行委員会の副委員長として式を盛り上げるための準備を行っている。



PROFILE

大賀 奏英 さん

Oga Kanae

2003 年(平成 15 年)玉野市出身。第二日比小学校、日比中学校、玉野商工高校ビジネス情報科を卒業後、県内の大学の外国語学部に進学し英語を学んでいる。2024 年(令和 6 年)1 月に開催される二十歳の式実行委員会の委員長として式を盛り上げるための準備を行っている。



PROFILE

高畠 芽依 さん
Takabatake Mei

2005年(平成17年)玉野市出身。銚立小学校、東見中学校を卒業し、現在玉野商工高校3年生。高校1年生から始めた部活動のバドミントンでは部長を務めた。また、1年生の時に生徒会執行委員、2年生と3年生の時には生徒会副会長を務めた。

詳しい
インタビュー→



玉野商工高校 在校生



頑張っていること

学校生活で頑張ってきたことは、部活動と生徒会活動です。

部活動では、バドミントン部で部長を務め、チームをまとめるとともに、今年の6月に岡山県高校総体へ初出場しました。

生徒会活動では、1年生の時に生徒会執行委員、2年生と3年生の時には生徒会副会長を務めました。副会長に就任してからは、本校の体育・文化祭「雄心祭」で新イベント「歌合戦」を企画・運営して盛り上げました。

現在は、生徒が各課題を選択して行う授業「課題研究」で、自分たちがデザインした本校のオリジナル LINE スタンプを描くなど開発に取り組んでいます。

玉野商工高校を選んだ理由

中学生の時にオープンスクールに参加し、社会人に必要なマナーや接遇を学ぶことや、たくさんの専門資格を取得できることに興味を持ちました。

また、市内在住なので、自宅から通いやすいことも考えて、玉野商工高校を選びました。

自分の強み

私の強みは、集中力があることや何事にも根気強く取り組めること、また人と関わる活動が好きで楽しめることだと思います。

高校では、資格取得のため集中して勉強する必要があるため、自分の強みを生かし、情報処理検定やビジネスコミュニケーション検定、珠算・電卓実務検定など多数の資格を取得しました。

また、地域の人たちと関わりながら連携して行う行事があり、これらに前向きに取り組むことで私自身も成長し、充実した学校生活を送っています。

玉野のお気に入り

番田の銚島周辺の景色が好きで、小さいころには潮干狩りによく訪れていました。今でも夕日を見ながら散歩したり、友達と遊んだりしています。

また、カフェ巡りも好きで、色々なカフェを巡っています。最近では、母と一緒に滝の「珈琲学舎」に行くことが多く、勉強などの息抜きをしています。

将来の夢

小さいころから動物が好きで、将来は動物看護師か動物飼育員になることが夢です。

種類を問わず様々な動物が好きなので、たくさんの動物と触れ合える仕事がしたいと考えています。

高校卒業後は専門学校へ進学し、動物医療の最前線を学びながら就職に必要な国家資格の取得を目指します。

仕事と両立しながら積極的に学生生活を楽しんでいます

頑張っていること

一つ目はバスケットボールです。私はキャプテンを務めており、10月に開催された「岡山県高体連定時制通信制部バスケットボール秋季大会」では準優勝しました。この大会で私は「優秀選手賞」を受賞しました。

二つ目は生徒会です。楽しく活動しています。学校祭「臥竜祭(文化の部)」では準備や司会を担当しました。また、コンタクトレンズのケースを回収して障害者支援に役立てる取組も行っています。

三つ目は高校生による提言事業「2030 私ならこんな町にしたい 玉野」に参加したことです。グループでフィールドワークに行き、市内の状況を自分たちの目で見たり、地域の声を聞いたりしました。私が参加した班では、「電車待ちの有効活用」をテーマに、高校生や地域の人が電車の待ち時間を有効活用できるように、また、人と人との交流の場となるように、宇野駅の西側の広場にバスケットゴールを設置することを提案しました。

自分の強み

人当たりが良いので話しかけやすいとよく言われます。

玉野備南高校を選んだ理由

中学校の先生に自分にこの学校が合っ

ているのではないかと薦めていただいたのがきっかけです。クラスの生徒数は16人と自分にはちょうど良く、楽しく通えています。先輩後輩分け隔てなく仲が良く、先生も気さくに接してくれるので過ごしやすいです。また、玉野備南高校は授業の開始時間が10時50分からなので、私は早朝のアルバイトをしており、学校生活との両立に励んでいます。

アルバイト内容

コンビニエンスストアで働いています。色々な要望をするお客さんが来たり、やる事が多岐にわたっていたりして、働き始めて3~4か月は覚えることが多く大変でした。今は働き出して2年半になるので品出しや接客は完璧にできます。

玉野のお気に入り

マクドナルドや築港にできたラーメン屋「背脂におぼれし者」に食べに行ったり、宇野港で友だちとおしゃべりや歩いたりしています。

将来の夢

保育士になることです。保育園のころ、先生によくしてもらったことを今でも覚えています。私も子どもたちに気さくに話しかけて、子どもに寄り添える保育士になりたいと思っています。

PROFILE

三枝 暁星 さん
Saikusa Kosei

2005年(平成17年)玉野市出身。荘内小学校、荘内中学校を卒業し、現在玉野備南高校3年次生。生徒会長に立候補し、学生生活の向上に取り組む。

詳しい
インタビュー→



玉野備南高校 在校生



自分の成長が数字でわかるので達成感を得られます

頑張っていること

ウエイトリフティングです。6月に開催された令和5年度岡山県高校総体では76kg級で優勝、8月のインターハイでは、76kg級で「スナッチ」が4位、「クリーン&ジャーク」3位、トータル4位でした。

普段の練習

週に4・5回、1時間半くらい練習しています。種目の練習をしてから、補強のため、スクワットやベンチプレス、デッドリフトなどの筋トレをします。中でも上半身の筋肉を鍛えたいと思っているので、ベンチプレスを重点的にしています。

自分の強み

バーベルを一旦肩の高さまで持ち上げる「クリーン」をした後、「ジャーク」に移る時に、絶対に立ち上がれることです。今までに立ち上がれなかったことはありません。そのため、下半身が強いと言われます。また、メンタルを強く持つようにしています。試合では「自分ならいける」と強い気持ちで、「自分は自分」、「自分の力が出せるだけやろう」と、他の人を気にしないようにしています。

ウエイトリフティングの魅力

自分の成長が数字で分かることです。団体競技は、1人だけが上手でもうまくいきません。その点、ウエイトリフティングは個人

競技なので、試合では自分の力だけで闘います。そのため、成功も失敗も全部自分の力の結果です。達成感をとても得られるので、「できた！」を実感したい人におすすめです。また、体幹が鍛えられるので、他の競技をしている人にもおすすめです。

目標

12月10日(日)に開催された岡山県重量挙げ選手権76kg級で大会新記録を出して優勝しました。この試合を突破したら出場できる、2月にある京都の大会での優勝を目指して頑張りたいです。

玉野高校を選んだ理由

家から近いことと、サッカーやウエイトリフティングを放課後や休日に行っている私は、活動の時間が確保できる普通科を選びました。また、玉野高校にはウエイトリフティング部はありませんが、私が全国大会に出るために顧問の先生をつけてくれました。

玉野のお気に入り

家が小高いところにあるので、海が見えたり、空が見渡せたりして景色が良いです。また、家族でよく「時代屋」にご飯を食べに行くのですが、ハンバーグがおいしいのでおすすめです。さらに唐揚げはご飯が進むおいしそうで、ぜひ食べてみてもらいたいです。

玉野高校
在校生



PROFILE

大嶋 紗弥 さん
Oshima Saya

2005年(平成17年)玉野市出身。田井小学校、宇野中学校を卒業し、現在玉野高校3年生。小学4年生から始めたウエイトリフティングで高校1年生の時に全国選抜大会3位、2年生でインターハイ5位、選抜大会2位、3年生でインターハイ4位の成績をおさめる。日本で一番施設が良いと言われるウエイトリフティング部の監督から所属の打診があり、2024年(令和6年)4月からは石川県の大学に進学し、寮生活をしながら、ウエイトリフティングに打ち込む予定。



詳しい
インタビュー→



一生できる将棋の魅力を広めたいです

頑張っていること

将棋です。小学4年生のころ、休み時間にトランプと将棋がはやっていて、友だちと将棋を対局して負けて悔しい思いをしたことがきっかけで始めました。休日には、講師として将棋教室の小学生に教えるなど、普及活動にも携わっています。

普段の練習

平日は学業などやることも多いので2~3時間、勤が鈍らない程度にしています。休日は6時間打ち込んでいて、対局会があると1日中やることもあります。インターネットでの実践練習がほとんどで6割弱の勝率です。その他、パソコンでできるAIを使った自分の苦手な分野の研究や詰め将棋をしています。

将棋をするときの食事や栄養補給

甘い物が苦手でお腹がいっぱいになると集中できないので、対局がある日は軽めに、炭水化物を取らず、お肉を食べます。飲み物は考えの邪魔にならないように、お茶か水にしています。

自分の強み

精神力です。対局で負けても次にひきずりません。負けることも多いですが、強い人に負けても吸収できることが多いと、前向きに捉えています。

将棋の魅力

将棋は体力に自信がなくても、一生できる魅力的なゲームです。さらに、勝てない相手に勝っても上には上に強い人がいて、飽きることがありません。そして、子どもから大人まで幅広く楽しめます。難しく面倒くさいルールを前に、辞めてしまう人が多いですが、それを乗り越えれば、後は楽しめるので、踏ん張ってほしいです。

目標

11月18日(土)に行われた「第43回岡山県高校将棋新人大会」ではA組男子で準優勝し、1月末に石川県金沢市で行われる「全国高校文化連盟将棋新人大会」に出場します。そこでの優勝を目指しています。

玉野光南高校を選んだ理由

自然が豊かなことと、自分が将棋をしているので、自分と違う、スポーツをしている人たちの中に混ざれば違う刺激がもらえるのではと思ったからです。実際に、周りの人に影響されて考えがポジティブになりました。

玉野のお気に入り

山が好きなので、山々に囲まれた高校からの眺めが好きです。

PROFILE

福島 一颯 さん
Fukushima Ibuki

2007年(平成19年)玉野市出身。山田小学校、山田中学校を卒業し、現在玉野光南高校2年生。小学4年生のころから始めた将棋で数多くの対局をこなし、中学3年生の時に全国中学生選抜将棋選手権大会へ出場。岡山県大会一般大会では3位、11月18日(土)に行われた「第43回岡山県高校将棋新人大会」ではA組男子準優勝。現在は、普及活動にも携わっている。



詳しい
インタビュー→



玉野光南高校
在校生



PROFILE

二神 努さん

Futagami Tsutomu

1984年(昭和59年)岡山市出身。高校まで岡山で過ごし、東京の美術系の大学に進学、デザインを学ぶ。在学中、無印良品でアルバイトを始める。26歳の時に岡山へ帰郷し、30歳で内部登用により本社員へ。イオンモール倉敷店、イオンモール岡山店、岡山ロッツ店、埼玉県内など、全国転勤型の社員として勤務。新潟県十日町市では、「地域活性化起業人」として、十日町市役所に1年間出向する。2023年(令和5年)5月からショッピングモールメルカ店長としてオープンの準備やスタッフの教育に携わる。2023年(令和5年)9月同店オープン。

詳しいインタビュー



仕事内容

無印良品とは、「しるしの無い良い品」という意味です。店舗は現在、世界の国と地域で1,000を超え、商品アイテムも、衣服や生活雑貨、食品、そして家まで、7,000点を超えました。

私は、店長として、店舗の管理運営全般を行っています。また、岡山事業部のイベントチームのリーダーを担っています。「地域に根差した店舗」を目指し、各店舗が地域とつながりを持ち、地域課題解決の役に立てること、自分たちにできることは何かを考えて取り組んでいます。「つながる市(いち)」を開催し、玉野で活躍する人を知ってもらおうと考えています。

今の職業を選んだ理由

無印良品のシンプルで洗練されたデザインが好きだったことや、接客が好きなこと、接客して商品を買ってもらうという成功体験を通して、喜びを感じたからです。

自分の強み

お客様にどうやったら喜んでもらえるか、楽しく買い物をしてもらえるかを考えて新しいことにも真面目に取り組んでいます。

また、前向きに物事をとらえ、店長としてスタッフを率先できるように、自ら楽しんで仕事をできるように心がけています。

働くときに大切にしていること

まずは、スタッフとコミュニケーションをとることです。みんなが安心して楽しく働ける雰囲気意識してつくっています。次に、整理整頓です。気持ち良く働くため、売り場はもちろん、お客様から見えない事務所も整理整頓して自分たちの環境を整えています。

裏話

毎月たくさんのお品が出ています。特に食品は、カレー屋に負けないくらいのレトルトカレーの種類があり、商品を通して、世界の文化を知ることができます。

玉野のお気に入り

海を見ることです。休日に宇野港の突堤の先でボートと海を眺めてリラックスします。

また、瀬戸内国際芸術祭でまちの中にアートが点在していることや、移住者が新しくお店を開いたり、昔から変わらない老舗があったりと、新旧が融合している空気感がとても好きだなと思います。

メッセージ

職業の選択肢を広げるために、地域で働く人に目を向けてみてください。私も、若い人が地域に愛着を持てたり、「玉野って以外と良いところなんだ」と気づいたりするようなことを何かやっていきたいと思っています。

学生との商品開発や地域おこしにも携わり若い人へ還元しています

仕事内容

1946年(昭和21年)に、「なかや製菓」として創立し、「なかや宗義」に改名しました。洋菓子や和菓子、クッキー、アイスなどお菓子全般を製造、販売、卸売しています。

今の職業を選んだ理由

祖父母が菓子製造販売業を立ち上げました。父と祖父は経営方針が違い、父は、現在の庄内店の工場をつくった後、出て行ってしまいました。そのため、高校卒業後、祖父から自分の店で働いてほしいと言われ、18歳で現場入りすることになりました。

自分の強み

「自信のなさ」が強みです。冒険もしますが、石橋を叩いて渡るように慎重なところがあります。会社が資金難で大赤字だった時も、「自信のなさ」で色々なことをしてきたからこそ乗り越えられたと思います。

働くときに大切にしていること

まず、「お菓子1個がお客様の元に行く」ということを意識することです。工場などで大量生産していると、どうしても雑になりがちです。だからこそ、今作っているお菓子はお客様一人ひとりの元に行くことを意識するよう、従業員にも伝えていきます。

次に、清潔感です。気の緩みから食品事故につながってしまいます。衛生管理は徹底し、「何のためにやっているのか」という基本を大切に、良い商品を良い形でお客様に提供できるようにしています。

プライベートと仕事の切り替え

意識して離れる必要があると思い、休みの日は外へ行くことにしています。海が好きなので、船を操縦し、釣りをしたり、周りに何も無い海の上でゆっくり過ごしたりするとリラックスできます。

裏話

お菓子は買ったまま食べる人が多いと思いますが、一手間加えると違う楽しみ方ができます。例えば、どらやき「三笠」は、バターを塗って、オーブントースターで温めるとより一層風味が増します。お店で一番人気は「プチフル(左写真)」です。大人数でシェアするのに最適です。

玉野のお気に入り

やはり見ていると落ち着く海です。

メッセージ

お金の使い方やマネジメントを勉強すると良いと思います。お金の流れが分かることは大切です。

綿なかや宗義 代表取締役



PROFILE

中家 圭一さん

Nakaya Keiichi

1970年(昭和45年)玉野市出身。宇野小学校、宇野中学校、玉野商業高校(現在の玉野商工高校)を卒業後、1988年(昭和63年)に家業である「なかや宗義」へ就職。27歳で代表取締役役に就任。

詳しいインタビュー



自分に合っている場所で働くことが大切だと実感しています

仕事内容

競輪場のバンクを間近に眺められる、日本初のスタジアム一体型ホテル「KEIRIN HOTEL 10」でレセプション(受付)や広報、SNSなどを担当しています。

今の職業を選んだ理由

就職活動をしている時に、企業コンセプトの「目的地となる宿をつくる」に共感し、岡山出身ということもあり、このホテルを選びました。私自身も旅行をする際には行きたいホテルから旅先を決めることが多いです。

働いてみて気づいたこと

ホテルで働くにあたり、初めて玉野に住み始めましたが、景色も人も穏やかで魅力的な場所だと感じています。

自分の強み

SNS運用担当として、Instagramやエックスでホテルの投稿を行っています。SNSは以前からプライベートで活用していたので、運用していく上で意識する点などをホテルアカウントの運用に活かしています。

働くときに大切にしていること

「お客様に寄り添った対応」を常に心がけています。お客様からの要望をできる限り実現できるよう、お客様の意図を汲み取り、満足し

ていただけるサービスができるよう意識しています。また、「成長できる環境」を大切にしています。今の職場ではレセプション業務だけでなく広報や SNS など、様々な業務にチャレンジさせていただいているため、学べるチャンスが多く、自分自身の成長に繋がっていると実感しています。

裏話

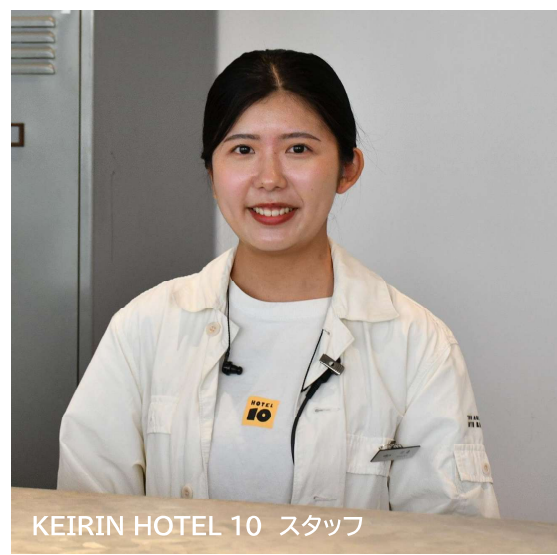
「KEIRIN HOTEL 10」の10の裏話です。競輪は最大9人で行う競技ですが、ホテルに宿泊されるお客様には10番目の選手になった気持ちで、エンターテイメント感あふれる空間を楽しんでいただきたいという思いが込められています。

玉野のお気に入り

日の出海岸で日の出を見ながら出勤しています。海が近い職場は珍しく、穏やかな瀬戸内海の景色が広がっていて、お客様にもおすすめする一押しスポットです。

メッセージ

自分に合った職場で働くことで毎日が楽しく、充実した社会人生活を送ることができると思います。皆さんも、楽しい社会人生活になるよう、自分の性格や得意なこと、好きなことを考える機会を持ってみてくださいね。



KEIRIN HOTEL 10 スタッフ

PROFILE



田邊 晴歌 さん

Tanabe Haruka

2001年(平成13年)岡山市出身。高校まで岡山の学校に通い、観光業を目指す大阪の専門学校に進学。卒業後、2022年(令和4年)3月にKEIRIN HOTEL 10のオープンと同時に就職。レセプション業務などを担当している。

詳しい
インタビュー→



『事故を起こさない』プロ意識で公共交通を支えます

仕事内容

シーバスや路線バス、貸切バスの運転が主な業務です。

今の職業を選んだ理由

両備グループは多様な事業体であり、以前より興味を持っていました。その中でもバス事業は、公共性の高い仕事ができることに魅力を感じました。総合交通キャリア職で採用され、今は現場で運転手をしながら業務を学んでいます。

働いてみて気づいたこと

高校はバスで通学していたので、バスが遅れることは知っていました。実際に運転手として働いていると、渋滞などの道路事情で遅れることがありますが、乗客の皆さんは辛抱強く待ってくれて、「遅い」と非難されることも少なく、優しい人が多いです。

昨今はバス乗務員の担い手不足も深刻であると実感しています。

自分の強み

大学で法学を学んでいたため、自分と相手の立場から考えるように心がけています。「自分が利用する立場だったらどうすると嬉しいか」などを日ごろから考えて仕事をしています。

保育園の遠足の送迎に貸切バスが使われることがあります。子どもたちが乗り降りしやすいように、踏み台を出して補助をしています。普段とは違うお客さんである、子どもたちに「ありがとう」や「またね」と言われると嬉しいです。遠足で疲れたのか、バスに乗って1分ほどで子どもたちが寝ていてほほえましかったです。

働くときに大切にしていること

一番は事故を起こさないことです。そのために、「あわてない」「気持ちにゆとりを持つ」ことを常に念頭においています。入社以来無事故継続中は私の誇りです。

外がまぶしい時には日よけを設置したり、雨や霧の時は、普段よりも速度を落として昼間でもヘッドライトをつけたりして、事故をおこさない基本を徹底しています。

玉野のお気に入り

玉野に住んで 7 年目になりますが、バスの運転をしていて、藤井海岸を通ると海がきれいだなと思います。

先日は、護衛艦『ゆうべつ』の進水式の時に、ちょうど藤井海岸を通ったので、華やかな様子を見ることができました。

PROFILE



花島 武文 さん

Hanajima Takefumi

静岡県浜松市出身。高校まで静岡の学校に通い、岡山大学法学部に進学。2018年(平成30年)に両備ホールディングス株式会社に就職。玉野営業所に配属され、玉野へ移住。玉野市コミュニティバス「シーバス」や路線バス、観光バスなどの運転手を務めている。

詳しい
インタビュー→



両備ホールディングス(株)
両備バスカンパニー玉野営業所

路線班長



榊原製作所 代表取締役社長

PROFILE

宮原 浩光 さん

Miyahara Hiromitsu

1987年(昭和62年)玉野市出身。玉小学校、玉中学校、玉野高校を卒業後、京都産業大学経営学部へ進学。同大卒業後、2010年(平成22年)に地方銀行へ就職。2014年(平成26年)に退職後、宮原製作所へ就職。下積みを経て、2020年(令和2年)に同社の代表取締役社長に32歳で就任。



詳しいインタビュー

ものをつくる仕事はお客様の顔が見えないからこそ責任感を持っています

仕事内容

宮原製作所は1924年(大正13年)に創業し、三井造船の協力企業として、船のディーゼルエンジンの組立や機械加工などを行っています。私は、入社後、業務全般を経験しました。それまで機械に触れたことはなく、作業は初めての経験だったので最初は失敗ばかりでしたが、先輩に直接教わりながら習得しました。

今の職業を選んだ理由

この会社は、曾祖父が創業し、私で9代目になります。会社の真横が家だったので、小さいころから会社の様子を見聞きして馴染みもあったことと、前職で様々な企業や工場を見た中で、家業を強く意識したことがきっかけです。

働いてみて気づいたこと

作業をする上でけがをしないように環境を整備するのは基本だと実感しています。また、日本が世界に誇ることの一つに集積された海事産業があり、造船や舶用工業など玉野の産業がその一端を担っていることに気づかされました。

自分の強み

私は敷居の低さと、ふところに飛び込みやすい性格が強みだと思っています。社長

に就任してからは、アイデアを出しやすい組織の雰囲気作りを心がけ、中小企業の強みであるスピード感を活かして、社員のやりたいことが実現できる職場にしています。

働くときに大切にしていること

一番に、家族や同僚、仲間を大切にしています。私1人ではできないことも、同僚や仲間がいるからこそできるので、社員を大切にしています。また、船には数万~1,000万以上もの部品が使われて、それらが一緒になって船が完成します。ものづくりに関わった人たちの苦勞を考えるようにしています。

玉野のお気に入り

会社の目の前が藤井海岸なので、瀬戸内海や多島美がいつでも見られます。また、産業振興ビル1階の同級生がしている焼肉店「雲龍~unryu~」がおすすめです。

メッセージ

「仕事だから」と割り切ってしまうばつまらなく感じるでしょうし、楽な仕事も同様につまらないと感じるでしょう。しかしながら、目の前の仕事を楽しくさせることは可能です。自分にとって楽しいと感じるものは何か考え、探すことで将来が変わってくると私は思っています。心ゆくまで自分の幸せを追い求めてください。そしていつか誰かを幸せにしてくださいね。

PROFILE

津田 貴史 さん

Tsuda Takashi

1986年(昭和61年)福井県福井市出身。地元の小中高校を卒業後、福井大学工学部へ進学。同大卒業後、福井県福井市の化学系企業に就職。名古屋支店(愛知県)に転勤後、本社勤務として福井県福井市に戻る。2018年(平成30年)9月に退職。2019年(平成31年)3月に玉野市へ移住し、2022年(令和4年)6月から「もんしーファーム」を開業。大藪みかん、その他柑橘や有機ハーブの栽培・加工・販売をしている。

津田 彩子 さん

Tsuda Ayako

1986年(昭和61年)岡山県岡山市出身。地元の小中高校を卒業後、島根大学法文学部へ進学。同大卒業後、愛知県名古屋市のIT系企業に就職。貴史さんの仕事の知り合いを通じて出会い、退職後、結婚し、絵を描き始める。「もんしーファーム」では、企画・営業・デザイン担当として、みかんを入れる段ボール箱やTシャツ、のぼり旗などをデザインしている。



▲詳しいインタビュー

私たちらしさを見つけて、好きなことに真正面から向き合っています

仕事内容

農業をしています。みかんや甘夏、ネーブル、はっさく、有機ハーブを栽培、道の駅みやま公園やオンラインなどで販売しています。

今の職業を選んだ理由

貴史さん みかんが好きだからです。大好きなみかに携わりたいと会社を退職し、全国のみかん農家に話を聞きに行ったり、収穫のアルバイトやインターンシップ(職業体験)にも行きました。玉野のみかんの現状を知り、ここなら自分のやりたいことができると感じました。

彩子さん 子どものころから絵を描くことが好きでした。夫の「農業」と私の「アート」をかけ合わせることができるのは、私たち夫婦ならではの強みだと思います。みかん箱などのデザインは、もんしーファームのイメージの「かわいらしさ」を表現しています。モデルは、私たちが飼っているうさぎや猫なんですよ。

働いてみて気づいたこと

岡山はフルーツ王国と言われていますが、玉野の特産品である「大藪みかん」を知らない子どもたちが多くて驚いたとともに、もっと多くの人に知ってもらいたいと思っています。

働くときに大切にしていること

働くことに関して「人間力」が大切だと思っています。学校での勉強以外にも仕事ではコミュニケーション力、問題解決力、共感力や発想力なども必要です。

誰かのために、何かをした結果、対価を得るものが「仕事」だと思います。誰かのために何かをした結果、対価を得ることがないのが「ボランティア」、自分のためだけかつ対価を得ることがないのが「趣味」だと区分しているので、「仕事」をするときには、それが誰のためになっているかを意識して働いています。

裏話

みかん畑には、野うさぎが出ます！

玉野のお気に入り

玉野にあるループ橋近くの山にそそり立つ岩です。全国でも珍しい景色だと思います。大きな岩がゴロゴロしていて今にも落ちてきそうだなと思って見えています。

メッセージ

自分のことを知ることが大切です。自分のやる気につながることを考えてみてください。誰かが喜んでくれる顔を思い浮かべながら、自分が面白いと思えることを探してみてくださいね。



もんしーファーム

『安全第一』で物事をしっかり理解することを大切にしています

仕事内容

弊社は、世界トップクラスの高品質な電気銅や、その製造工程での副産物として硫酸や石膏などを製造している会社です。銅の製造には様々な工程がありますが、私は銅の生産過程で製造される硫酸に関わる業務に携わっており、機械やガス道の設備点検を主に担当しています。

今の職業を選んだ理由

製錬所が家の近くにあり、所内にある大きな煙突や機械は外からも見えるため、通学時には「この中で何をどのようにつくっているのか」と興味を持っていました。高校時代に機械科で学んだ専門知識や技術を活かせる就職先を探していたときに、強く印象に残っていた、この製錬所を選びました。

働くときに大切にしていること

自分だけでなく、周囲の人や設備に影響がないよう「安全第一」は常に心がけています。作業前には資料で確認するだけでなく、指差しや声出しの確認も行い事故を起こさないようにしています。また、体調管理のため睡眠やストレス発散などの生活習慣にも気をつけています。

自分の強み

勤務時には設備の点検に4~5時間歩き回

ったり、夜勤をしたりすることもあります。学生時代にバスケットボール部で培った体力や元気の良さを活かしていると感じます。また、学生時代に学んだ安全教育や、何事にも真面目に取り組む性格を活かして業務を遂行しています。

玉野商工高校の魅力

機械科では、実際に地元の事業所を訪れて指導を受けながら製作実習するなど、学校だけでなく現場で知識や技術を習得できます。また、市内で開催されるイベントに授業やボランティアで携わることができ、地域貢献できることも魅力です。

玉野のお気に入り

今年築港にオープンしたバスケットボールセレクトショップ「PORT LAND PARK」が気に入りで、バスケットボールウェアやおしゃれな服を買ったりしています。また、築港の周辺には新しいお店がたくさんできているので、食べ歩きや買い物など色々な楽しみ方をしています。

メッセージ

社会人として働き出すと、学生のころにも増して自分の行動に責任が伴うようになります。分からないことは質問しメモをとるなど、日ごろから習慣付けておくことをおすすめします。



玉野商工高校 卒業生
日比共同製錬株式会社 玉野製錬所勤務

PROFILE

村富 剛輝 さん Muratomi Goki

2004年(平成16年)玉野市出身。第二日比小学校、日比中学校、玉野商工高校機械科を卒業後、2023年(令和5年)4月に、日比共同製錬株式会社 玉野製錬所に就職。熔錬課硫酸係で、機械やガス道などの設備点検業務を担当している。



詳しい
インタビュー→



生み出す作品を大事に、「本気」でやってきたからこそ、今があります

仕事内容

今まで、多種多様な絵描き業種をほぼすべて経験しました。若いときは、生活するため、自分の経験値に見合った絵仕事を選び、その時代を過ごしてきました。そのすべての経験が今に生きています。今は念願のオリジナルの絵を主流に、画家でもない、イラストレーターでもない、不思議であいまいなところにいます。これは絵描きとして私の老後の理想の立ち位置なんです。

今の仕事を選んだ理由

実は大学受験に失敗しました。そして社会人になれる気がなくて落ちこぼれました。この大きな挫折を経験し、唯一の望みであったのが絵です。社会での自立手段を考えた時に、この絵でやっていくしかない、「背水の陣」の思いで絵描き人生が始まりました。

自分の強みを仕事に活かすには

友だちのデザイナーにフォトショップ(写真や画像の加工・色の調整などを行えるツール)で絵が描けるよと言われたのがデジタルアートを描き始めたきっかけでした。当時、フォトショップのマニュアルは英語で書かれたものしかなく、それを使って絵を描いている人もいませんでした。自分で1つ1つのツールを使ってみながらマウスで絵を描いてみて、「こういう絵が描けます」と見せたところ依頼が入ってくるようになりました。

働くときに大切にしていること

絵や音楽の芸術は生活必需品ではないと思われがちですが、人にとって芸術こそ生活必需品だと思います。生きていると辛いことや悲しいこともあります。絵があるから、音楽があるから救われた人も多いと思います。また、大切にしているのは良い絵を世に出すことなので、依頼されても勇気を持って断ることもあります。作家にとって一番大事なものは「名」ではなく「作品」ですから。

玉野のお気に入り

王子が岳のてっぺんの岩の上です。

メッセージ

人は誰でも一度や二度、人生に迷い、どうしようもなく嫌になることもあると思います。私も30歳を過ぎたころ、人生の迷子になりました。今となっては、迷子になったお陰で心の殻を外して視野が広がりました。

また、その人に才能があったとしても、本人に「本気」がなければ宝の持ち腐れです。反対に、少し能力が足りなくても、「本気度」があればそこを補充してくれると思います。

そして、大変だから仕事になります。自分ができない「大変さ」を人から買って、人ができない「大変さ」を売る、これが社会の基本です。「大変だ」が喜びの言葉に変わると良いですね。

PROFILE

内尾 和正 さん Uchio Kazumasa

1959年(昭和34年)玉野市出身。第二日比小学校、日比中学校、玉野高校を卒業後、大阪デザイナー学院イラスト科へ進学。同専門学校卒業後、ヨーロッパ10か国で研修し、1981年(昭和56年)大阪でフリーのイラストレーターとして独立。主にエアブラシによるリアルイラストを制作。1992年(平成4年)マッキントッシュコンピューターによるCGイラスト制作を開始。1993年(平成5年)アトリエを岡山へ移転。2011年(平成23年)から2013年(平成25年)3月まで県内大学の非常勤講師を務める。2014年(平成26年)から玉野市で『夢のいきもの』企画開始。現在も年に1回継続中。



詳しい
インタビュー→



イラストレーター

玉野ほほえみマリン大使とは

気候温暖・風光明媚な玉野の魅力をPRする広告塔として、「ミスマリンたまの」は、1987年(昭和62年)からはじまりました。1995年(平成7年)に「玉野ほほえみマリン大使」に改名し、36年間、脈々と受け継がれてきています。

市内や近郊に在住(勤)の18才以上の健康な男女が審査によって毎年1人選ばれ、2年間活動します。

活動内容

主に市内で開催される式典やイベントでプレゼンターを務めたり、玉野のPR活動、まちなイメージアップにつながる情報を公式インスタグラムで発信したりしています。

玉野ほほえみマリン大使になろうと思ったきっかけ

横山さん 高校生の時に玉野ほほえみマリン大使のことを知りましたが、年齢が達していませんでした。大学生になったらチャレンジしてみようと思っていたところ、募集のポスターを見て応募する勇気をもらいました。マリン大使の活動を通して地元である玉野に少しでも恩返しができるればいいなと思い、地元の人から愛される場所で自分にも何かできないかと思ったことがきっかけです。

大山さん 昨年ワーキングホリデーで訪れていた台湾から帰国した時に募集のポスターを見つけ、身につけた英語や中国語を活かして、地元玉野を世界中の人に知ってもらいたいと思ったのがきっかけです。自分にも何かできないかと思いました。

活動して気づいたこと

横山さん 私は大学に入学してすぐに活動が始まったので、社会に出て何かするという経験はありませんでした。活動していると、色々な人と話をする機会があり、玉野のために尽

力されている人がこんなにもいることにはじめて気づきました。さらに、玉野ほほえみマリン大使の様々な活動を通して玉野の魅力を実感し、玉野がもっと好きになり、もっと多くの人に伝えたいと思いました。

大山さん まだ活動して3か月ですが、玉野って色々なイベントをしていることに改めて気づきました。高校を卒業してから10年ほど地元には帰ってきていなかったのですが、活動をする中で、玉野の魅力を知ることができたと思っています。また、学生の時から利用しているお店を見ると、「地元に戻ってきた」とホッとします。そこに変わらない魅力があると思います。

自分の強みを活動で活かすには

横山さん 大学で英語を勉強しているので、公式インスタグラムのキャプション(説明文)を日本語だけでなく、英語も表記するようにして、世界中の人に玉野のPRをしています。

大山さん 横山さんと同じく、多くの人に玉野の良さをPRするため、私は中国語でキャプションを表記しています。

活動するときに大切にしていること

横山さん 玉野を代表するPR大使として、ふるまいや言動に責任を持って行動するように心がけています。また、大使名に「ほほえみ」が入っているので、常にほほえみを意識しています。

大山さん 人に元気を与えられる大使でありたいと思っています。玉野ほほえみマリン大使は玉野の顔なので、失礼のないように気を張っています。

プライベートと活動の切り替え

横山さん 制服を着て、帽子と手袋とタスキをつけると自然と気が引き締まります。逆に、

制服を脱ぐと、普段の自分に戻ります。

大山さん まだ活動経験が浅く、慣れていないので、活動がある日は朝から緊張しています。あがり症なので、ずっとドキドキして手が冷たくなります。これから切り替えて慣れていきたいです。

裏話

普段は会えないような会社などの上の立場の人に会うことができます。

また、プライベートでも「マリンちゃん」と声をかけてもらい、この活動をしているからこそだなと思います。

玉野のお気に入り

横山さん 王子が岳です。気合いを入れたい時や癒やされたい時など、何かあるときには訪れて、深呼吸をしてリフレッシュする特別な場所です。

大山さん 私はインドア派なので、玉野市立図書館がお気に入りです。2週間に1回は図書館へ行き、本を読んだり、1回に4冊ほど本を借りて帰ったりします。よく借りるのは自己啓発の本で、最近は世界史にも興味があります。

詳しいインタビュー→



公式
インスタグラム



公式
フェイスブック

PROFILE

大山 実紗代 さん
Oyama Misayo

1991年(平成3年)玉野市出身。後閑小学校、宇野中学校、玉野高校を卒業後、東京の大学の外国語学部に進学し観光について学ぶ。大学卒業後、一般企業に就職し、法人営業として働く。一旦退職し、ワーキングホリデー制度を利用して、オーストラリアに2年、台湾に2年滞在し文化を学ぶ。その後日本に帰国し、2023年(令和5年)8月から玉野ほほえみマリン大使として活動しながら、派遣社員として勤務している。



玉野ほほえみマリン大使

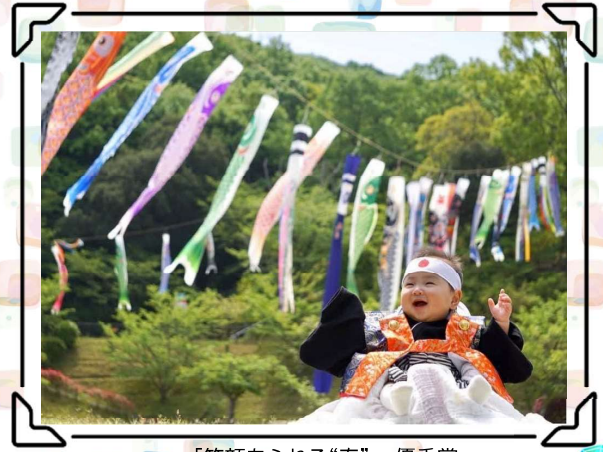
PROFILE

横山 咲季 さん
Yokoyama Saki

2003年(平成15年)玉野市出身。第二日比小学校、日比中学校、岡山南高校を卒業後、岡山市内の大学の文学部に進学し英語を学んでいる。2022年(令和4年)から玉野ほほえみマリン大使として活動中。



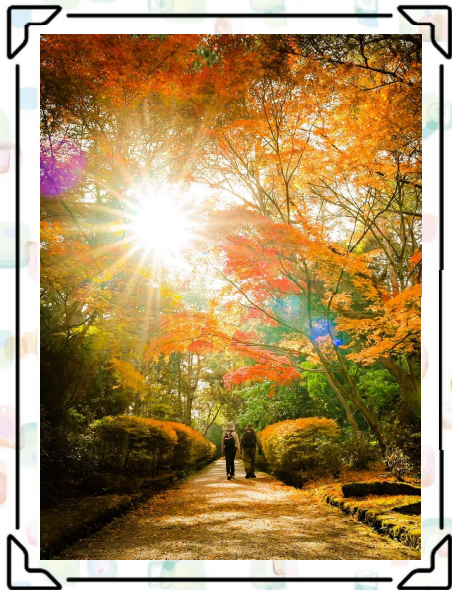
玉野の恵まれた自然景観や観光資源、グルメやお気に入りの場所などを広く市内外に発信することを目的に、玉野市公式Instagramを通して、テーマごとに四季折々の玉野の魅力が伝わる写真を募集する第2回フォトコンテスト。2022年(令和4年)4月~2023年(令和5年)2月まで季節ごとに募集し、それぞれ優秀賞、たまのの四季賞が選ばれています。第1回「すみたま 2020 フォトコン」では、7点の受賞作品が選ばれています。



「笑顔あふれる“春”」優秀賞
ioioiopon/横田公園(槌ヶ原)



「とっておきの“夏”の思い出」優秀賞
akazaru8352/日の出海岸(築港)



「彩り豊かな“秋”」
優秀賞
at.creha
/深山公園(田井)



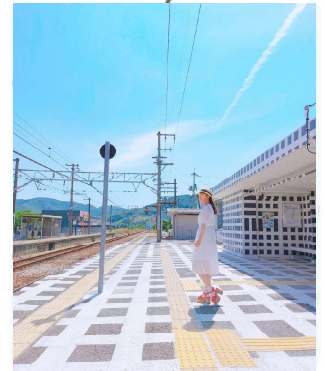
「心も体も温まる“冬”」
優秀賞
pw_mariko_33
/王子が岳(渋川)



「笑顔あふれる“春”」たまのの四季賞
h_katsuma/王子が岳(渋川)



「彩り豊かな“秋”」たまのの四季賞
nanapuchan/宇野港(築港)



「とっておきの“夏”の思い出」
たまのの四季賞
nanashasinkan
/JR八浜駅(八浜町大崎)



「心も体も温まる“冬”」たまのの四季賞
mikan_miyama/深山公園(田井)

#すみたま



で検索
&
投稿

やっぱり玉野が好き♡
たまののいいところを
Instagramでシェア
しよう!



たまたまたまのを、またまたたまのに。／玉野市キャッチコピー



玉野市公式
Instagram



玉野市公式
X



玉野市公式
Facebook



玉野市公式
YouTube